



Windows™ / Macintosh™ 対応

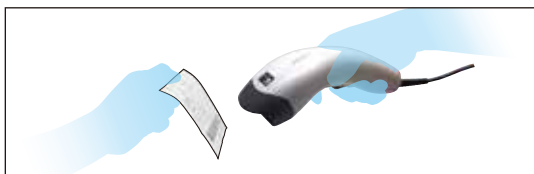
■ HAYABUSA ver.5 新機能

1. バーコードシステム

・データ受付時にバーコードを発行し、管理運営を行います。修正や再受付時にバーコードをかざすだけで受付パソコンにデータを自動ダウンロード。素早い確認、修正が可能です。また、会場で使う発表データも最新のデータで保存されスムーズな運営が可能になります。



●データ受付が完了後
バーコードを発行します。



●バーコードの提示で、
発表データの修正や会場での呼び出しをスムーズに行います。



●バーコードで呼び出されたデータは
発表用のPCにダウンロードされるので、
データの取り違いを防げます。

2. セルフ発表機能

・バーコードシステムを利用する事で、オペレーターが居ない状態でも発表が出来る機能です。

3. 集計機能

・学術集会などでは利益相反 (conflict of interest、COI)。
・各種セミナーや展示会では講演会データや来場者の管理・集計を行えます。

■ 特徴

●発表データを集中受付・管理

簡単操作で確実なデータ受け取りと、受付状況が随時確認できます。

- 予め入力済の講演プログラムから講演者を選びデータを受取るだけの容易なオペレーション。
- 受取ったデータを講演用PCと同じ動作環境にて上にて表示確認するので、制作環境との差異による表示の不具合は事前に確認できます。
- 受付時の留意点等は、備考として講演会場のオペレーターに伝達されます。

●各講演会場の講演用PCへ自動転送

サーバーから各部屋への転送は講演プログラムに基づいて行われます。

- 講演用PCの各部屋冗長化にも対応し、ボタン操作一つで転送がかかります。尚本番が終了すると、そのPCにも受付済のデータは保管できます。
- 会場オペレーターも受付状況をリアルタイムで確認できるので操作に専念できます。手動コピーよりもリスクが低くなります。

●講演の進行状況をリアルタイムで表示

受講者への効率的なスケジュールデータを提供します。

- 各会場のオペレーターの操作状況がそのまま表示されるので、まさにリアルな進行状況を表示します。
- バックヤードでは、受付を含む全ての進行状況が把握できます。急な講座の中止や追加も随時対応可能です。

■ 特徴

1. プレゼン用データ受付

発表者がプレゼン用のデータを受付に持ち込みます。

プレゼンデータ
持ち込み

Mac Win

各種メディア対応

2. プレゼン用のデータの確認

プレゼン用データに不備が無い確認を行い、バーコードを発行します。再度データの修正がある場合はバーコードを提示して頂ければ修正可能です。

バーコード発行

バーコードプリンター

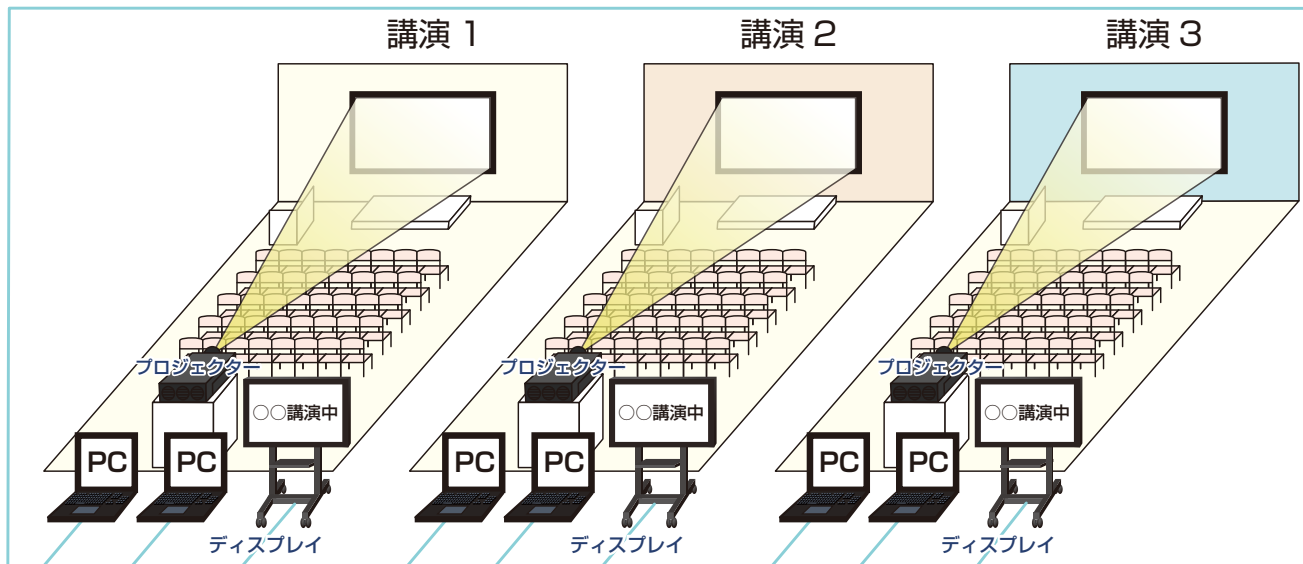
サーバー(HAYABUSA)

3. プレゼン用データをサーバーにアップ

受付完了

4. 受付したプレゼンデータを発表会場へ配信

受付したプレゼンデータは瞬時に発表会場のパソコンに配信されます。また、各会場の進行状況も専用ディスプレイで表示可能です。



5. 各会場に配信されたプレゼン用データ呼び出します。

HAYABUSA を通じて瞬時に各会場にプレゼン用データが配信されます。

発表者は受付で渡したバーコードを会場で提示して頂ければ、プレゼン用データ呼び出すことが可能です。



システム補足

本システムは、受付・確認PCならびに、オペレートPCと総合管理PCと進行状況表示PCに各々のソフトウェアをインストールします。その動作環境はWindows 7/8、MacOS 10.10にて確認しております。

■ こんなところでおすすめ！

学術系会議、国際会議、シンポジウムや展示会での複数セミナー会場や隣接する施設など